

平成24年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	通信指令施設の更新整備		担当部局	情報通信局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	通信施設課		通信施設課長 塚原 秀利		
会計区分	一般会計		施策名	複数施策(1~7)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経年により劣化した通信指令施設について更新する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	110番通報に迅速かつ的確に対応するため、直ちに通報内容を警察署等に伝え、パトカーや交番等の地域警察官を現場に急行させるとともに、必要に応じて緊急配備の発令等を行うための施設である通信指令施設を整備する。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	561	370	1,102	213	1,688	
		補正予算	3,050	2	0	0		
		繰越し等	1,734	1,705	29	0		
		計	1,877	2,073	1,131	213	1,688	
	執行額	782	1,865	618				
執行率(%)	42%	90%	55%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 老朽化した通信指令施設の更新		成果実績	施設数	5	9	6	-
	(成果実績) 更新施設数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	同上		活動実績 (当初見込み)	施設数	同上	同上 (10)	同上 (5)	同上 (6)
単位当たりコスト	103,000 (千円 / 1箇所)		算出根拠	1箇所当たりの整備経費(総額 / 整備箇所数)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	物品購入費	125	1,210	前年度と比較して整備箇所数が増加したため、増額となったもの。 治安に関する「重点要求」1,633				
	借料及び損料	35	28					
	雑役務費	53	450					
計	213	1,688						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	警察活動において、警察情報の伝達は必要不可欠なものであり、全国一律的に整備を進める必要があるため、国において実施する事業である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調達にあたっては、経済性、効率性について十分に検討した上で、一般競争入札を実施しており、競争性も確保している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業を実施することにより、警察活動をより迅速・的確に行うことが可能となり、高い効果が得られるものである。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>1 支出先・用途の把握水準・状況 本事業に係る契約については、地方機関に予算配賦して執行しているが、その調達状況について報告を求めており、支出先・用途については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 警察活動を行う上で警察情報の的確な伝達は必要不可欠であり、国民生活と直結する事業であることから、本事業は継続して実施する必要がある。 予算要求に際して、契約実績、市場調査に基づく金額及び内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。</p>		
	<p align="center">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	<p>1 支出先・用途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
	<p align="center">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
	現状通り	<p>警察活動を行う上で警察情報の的確な伝達は必要不可欠であり、国民生活と直結する事業であることから、本事業は継続して実施する必要がある。 予算要求に際して、契約実績や市場調査に基づく金額や内容の精査を引き続き実施するとともに、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行う。</p>	
<p align="center">補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			
特になし			
<p align="center">関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー	当初8-6、補正3-5	平成23年行政事業レビュー	53

警察庁
618百万円

〔通信指令施設の更新整備に必要な資機材等の購入
及び機器設置工事に要する予算を配賦〕

↓
【予算配賦】

A. 管区警察局等情報通信部

近畿管区警察局
156百万円

各管区警察局
(4機関)
462百万円

↓
【予算配賦】

B. 府県情報通信部

京都府情報通信部
156百万円

〔通信指令施設の更新整備
に必要な経費を支出〕

↓
< 物品購入等 >
【一般競争入札等・随意契約(その他)】

C. 民間会社
(5者)
156百万円

〔通信指令施設の更
新整備に必要な資
機材の納入及び機
器設置工事の実施〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.近畿管区警察局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	通信指令施設の更新整備に要する経費	156			
計		156	計		0
B.京都府情報通信部			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	通信指令施設の更新整備に要する経費	156			
計		156	計		0
C.日本電気株式会社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	京都府警察本部用指令通信装置の購入	122			
計		122	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿管区警察局	予算配賦	156		
2	中国管区警察局	予算配賦	135		
3	九州管区警察局	予算配賦	130		
4	東北管区警察局	予算配賦	115		
5	関東管区警察局	予算配賦	82		
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京都府情報通信部	予算配賦	156		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気株式会社	京都府警察本部用指令通信装置の購入	122	2	
2	サンコムシステムエンジニアリング株式会社	京都府警察本部用指令通信装置整備等工事	24	8	
3	日立バッテリー販売サービス株式会社	直流電源装置の購入	9	3	
4	NECキャピタルソリューション株式会社	京都府警察本部用指令通信装置賃貸借	1	2	
5	株式会社日立製作所	照会電話受付装置用基板の購入	0.08	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					

通信指令システム

通報者からの110番通報を受理し、必要な指令を迅速かつ的確に行うため、全国の警察本部には、通信指令システムが整備されています。

通報者が110番通報すると、通信指令システムに備え付けられている110番受付台の担当者に電話がかかります。担当者は、通報者から事件、事故の状況、場所等の聴取を行うとともに、位置情報通知システムや地図表示システムを利用して事件、事故等の場所を特定し、警察官を直ちに発生現場に急行させます。

事件、事故現場

- ・ 窃盗事件
 - ・ 傷害事件
 - ・ 交通事故
- 等各種事件・事故現場からの110番通報



携帯電話等



110番通報



通信指令室



総合指令台

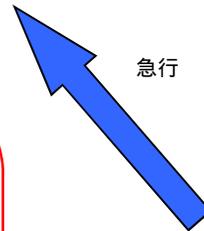


110番受付台



無線指令台

急行



指令



地域警察デジタル無線システム

初動警察活動の高度化を目的とした地域警察デジタル無線システムの運用を開始しました。

このシステムは、音声通話のための署活系無線機とデータ通信のためのデータ端末により構成されています。従来の署活系に比べサービスエリアが拡大したほか、通信指令室、警察署、現場警察官の間で、110番受理情報、文字・画像情報、位置情報等を共有することができます。



警察官等



警察官



パトカー



警察署